

低濃度 P C B 汚染物の適正処理実証調査事業

28 百万円 (18 百万円)

廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課

1．事業の概要

低濃度 P C B 汚染物は、電気機器として約 120 万台と非常に多いが、分解すべき P C B の量そのものはわずかであることから、その処理に当たっては、安全性の確保を前提としつつ、従来の化学処理方法に加え、既存の処理技術についても検討を行い、効率的な処理を行うことが必要である。

このため、低濃度 P C B 汚染物について、性状や濃度に応じた最適な処理条件について検討を行い、確実かつ効率的な処理方法の確立等を行う。

2．事業計画

(1) 低濃度 P C B 汚染物の焼却処理実証試験

低濃度 P C B 汚染物について焼却処理の実証試験を行い、性状や濃度に応じた最適な処理条件について検討し、確実かつ効率的な処理方法の確立を行う。

(2) 低濃度 P C B 汚染物の焼却処理に係る運転管理手法等の検討

低濃度 P C B 汚染物の焼却処理について、最適な運転管理手法等について検討を行う。

(3) 低濃度 P C B 汚染物の洗浄方法等に関する調査・検討

低濃度 P C B 汚染物から抜油をした後に残る部材や外側容器について、従来の洗浄方法に替わる簡易な洗浄方法について調査を行う。また、主として高濃度 P C B 廃棄物に適用することを前提に作成した収集・運搬ガイドラインについて、低濃度 P C B 汚染物に適用する場合の検討を行う。

3．施策の効果

低濃度 P C B 汚染物について、既存の処理技術で処理を行う場合の最適な処理条件が明らかとなり、確実かつ効率的な処理方法が確立されるとともに、低濃度 P C B 汚染物を処理する場合の最適な運転管理手法等を整理することにより、国民の安全性、信頼性に対する理解が深められる。